

NO 2012		レジメン名		THP-BVD(d) (備考あり)			
病棟	患者番号	氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名
			年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)
			歳	cm	kg	m ²	ml/min (mg/dl)
【適応がん種】HL ()はdの用量 THP/BLM/VLB/DTIC				CCr補正	GOT補正	T-Bil補正	【病状】 1 全て説明している 2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない 3 未告知である 【治療】 1 抗癌剤による治療・予防と説明 2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明 3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明 4 薬に関しては説明していない 平成20年7月1日 改訂
1・テラルビシン	25 mg/m ²	DAY1. 15	-	-	-		
2・ブレオ	10 mg/m ²	DAY1. 15	60～禁30	180～	3.1～禁5.1		
3・エクザール	6 mg/m ²	DAY1. 15	-	60～禁180	1.5～禁3.1		
4・ダカルバジン	375 mg/m ²	DAY1. 15	60～	-	-		
(dの場合ブレオ9mg/m ² かつ最大15mgまで、ダカルバジン250mg/m ² へ減量)				WBC基準	HGB基準	PLT基準	
28日(4週)1クール				2500	-	75000	
NO	薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与法		
①	サクシゾン100mg		1 本	★生食50mL	15分で点滴		
②	グラニセトロン「NK」1mg		1 本	★生食50mL	①サクシゾン終了後～ 15分で点滴		
③	テラルビシン()mg	20mg	本	★5%ブドウ糖50mL	②グラニセトロン終了後～ 15分で点滴		
		10mg	本				
④	ブレオ()mg	15mg	本	★生食50mL	③テラルビシン終了後に 15分で点滴		
⑤	エクザール()mg	10mg	本	★生食50mL	④ブレオ終了後～ 15分で点滴		
⑥	ダカルバジン()mg	100mg	本	▲5%ブドウ糖100mL	⑤エクザール終了後～ 30分で点滴(遮光)		
⑦	生食50mL		1 本		⑥ダカルバジン終了後～ 全開で点滴		
【注意点】							
<input type="checkbox"/> 白血球2500未満または血小板75000未満の場合治療延期 <input type="checkbox"/> 白血球2500～3500または血小板75000～100000の場合DXR、VLB、DTICを75%に減ずる <input type="checkbox"/> 投与前 動脈血酸素飽和濃度測定 65Torr以下の場合治療延期 <input type="checkbox"/> 投与前 動脈血酸素飽和濃度測定 前回値より15Torr以上低下した場合再検するとともに胸部X線写真実施、BLMの関与が疑われる場合BLM中止とする							
【薬剤部注意事項】.....▲遮光バック添付！！							
★18万円/28日1クール				★2時間15分		200807更新	
月日	うら面備考あり 示			指示医	受け	うら面備考あり 製 調監 前確 実施	
			①～⑦	DAY1			
			休み	DAY8			
			①～⑦	DAY15			
			休み	DAY22			

NO 212

備考
<p>【医師用】</p> <p><input type="checkbox"/> 腫瘍量が多い症例ではノイファン2錠/日を治療開始1ヶ月間使用する</p> <p><input type="checkbox"/> 治療開始日よりバクタ2錠/日を使用する</p> <p><input type="checkbox"/> グラン適宜使用、可ただし外来治療を考慮している場合は可能な限り控える</p> <p><input type="checkbox"/> 血小板20000以下、Hgb7g以下にならないように適宜輸血を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 初回投与前心機能の評価を行う。また4コース毎に再検を行う</p> <p><input type="checkbox"/> BLM総投与量180mg/Body(通常6コース)とする。</p> <p>ただし縦隔放射線照射が予定されている場合は120mg/Body(通常4コース)までとする</p> <p><input type="checkbox"/> グレードⅡの神経障害が出現した場合、以後のVLBを50%に減量、グレードⅢ以上の場合VLB中止とする</p> <p><input type="checkbox"/> グレードⅡ以上の不整脈、心虚血、グレードⅢ以上の心不全または左心駆出率40%以下の場合本治療中止とする</p> <p><input type="checkbox"/> グレードⅡ以上の肝障害、腎障害が出現した場合は回復するまで延期し、以後のDTICを75%量に減ずる。</p> <p>グレードⅢ以上の肝障害、腎障害が出現したとき、あるいはグレードⅡ肝障害、腎障害が出現し次回投与日より4週間待っても回復が認められない場合以後のDTICを中止とする</p>
<p>【看護師用】</p> <p><input type="checkbox"/> ダカルバジン投薬時は、本体およびルートを必ず遮光する</p> <p><input type="checkbox"/> DTIC(ダカルバジン)投与によりアナフィラキシーショックが現れることがあるので観察を十分に行う</p>